

意見書案第10号

新型コロナ禍による米価下落に対し政府による緊急対策を求める
意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり花巻市議会会議規則第13条第1項の規定
により提出する。

令和3年9月24日提出

花巻市議会議長 小原雅道様

提出者 花巻市議会議員 佐藤峰樹

賛成者 花巻市議会議員 近村晴男

同 久保田彰孝

同 若柳良明

同 羽山るみ子

同 伊藤盛幸

同 瀬川義光

新型コロナ禍による米価下落に対し政府による緊急対策を求める 意見書

過剰米の問題が深刻化している中、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食産業の米消費量の減少等により、さらに米の大幅な過剰が生じ、米価下落を招いています。特に2019年産米は過大な流通在庫が生まれました。

これにより全国的に米価が下落し、全国農業協同組合連合会岩手県本部の2020年産米の概算価格も60kg当たり前年より800円の値下がりとなりました。

本年9月10日、全国農業協同組合連合会岩手県本部は2021年産米の概算価格を発表いたしました。県の主力品種である「ひとめぼれ」は、一等米60kg当たり前年比2,300円減の1万円で、2年連続の値下がりとなり、米農家に衝撃を与えるなど、新型コロナウイルス感染症拡大により過剰米在庫がますます深刻化しています。

全国農業協同組合中央会は、来年6月末の在庫は50万トン増の250万トン超になると試算しており、来年もさらに米価下落が深刻化することを指摘する政党関係検討委員会もあります。

政府や県、市町村は主食用米の生産を抑えるために飼料用米への作付転換と支援を拡充するなどの取組を行っておりますが、このままでは在庫はさらに増え、今後も米価の暴落が危惧される現状において、多くの米農家が米づくりから撤退することにもなりかねず、今後の安定的な食料供給も守ることができなくなるおそれもあります。

コロナ禍による過剰在庫分は政府が責任をもって市場から隔離するべきであり、その責任を生産者、流通業者に押しつけることは許されません。

コロナ禍というかつて経験したことのない危機的状況の中で、農業者の経営と地域経済を守るため、政府の責任において、市場隔離した米を買い入れるなど、速やかに緊急対策をとるよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和3年9月24日

提出先

衆議院議長様

参議院議長様

内閣総理大臣様

農林水産大臣様

花巻市議会議長 小原雅道